

社 協

み い り



【編集発行】

広島市安佐北区三入5丁目15番9号三入公民館1階

・三入地区社会福祉協議会・広報委員会 TEL・FAX・082-818-7337

・社協みいり各号の原紙(カラー)はホームページ：
三入学区連合自治会・社会福祉協議会で検索して下さい。

第78号

2015年1月

発行部数 2,700部

- ・目次 2～3ページ：8月20日／広島土砂災害特集記事 4ページ：青少年意見発表
5ページ：地域の声、おくやみ、愛の灯 6ページ：三入地区社会福祉協議会 賛助会員名簿



<国道可部バイパス大林までの全線開通>

着手から34年の歳月を要し大林まで全線開通、建設立上げからは、実に40年近くかかっており、これに携わられた歴代の会長並びに国土交通省他関係各位に感謝と敬意を申しあげます。

< 写真は、2月8日、開通直前のバイパス 広島方面を望む >

文、写真提供 ・上町屋／笠野 道也さま

「みいりの風景」

写真シリーズ ⑩

「慢性的停滞も大幅に改善した町屋付近」

平成26年2月8日、一般国道54号可部バイパスが、三入から大林までの2・2Kmが延伸された。当日は式典終了後、記念パレードが予定されていたが、前日の雪で中止。式典に続き、祝賀行事も大林小学校で行われた。

・開通式典 国土交通省の主催

・祝賀行事 くす玉、テープカットに続きソーラン踊り、吹奏楽、和太鼓演奏、三入小児童代表100名による開通創作合唱はすばらしく、参加者500名の感動を呼びました。

このバイパスの開通により、一般国道・市道山倉線特に上根方面の停滞は大幅に改善された。



新年のご挨拶

三入地区社会福祉協議会

会長 佐々木 和治

新年明けましておめでとうございます。

地域の皆様には、新しい年を健やかに迎えのことに拝察し、謹んでお慶び申し上げます。

昨年八月二十日未明の豪雨による広島土砂災害は、甚大な被害をもたらしました。三入地区では、死亡者二名、山崩れ家屋倒壊・河川決壊・道路寸断・田畑土砂流入など過去に経験したことのない災害でした。亡くなられたご家族並びに被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

これの復旧に、地域の方々をはじめ自衛隊など行政に加え、全国から多くのボランティアの方々には懸命にあたってくださいました。大変ありがたく心からお礼を申し上げます。

当地区では、自主防災会連合会が中心となられ・防犯組合連合会をはじめ各団体の方々が学区単位で災害対策本部(ボランティアセンター)を立ち上げ一か月間この復旧へ懸命に当たっていただきました。心から感謝を申し上げます。

災害は、桐原地区および下町屋の東側地区が中心でしたが、復旧対応は、三入学区全体で取り組んでいただきました。

この素晴らしい対応の姿は、中心になっていただいた地域団体の幹部の方々の献身的な姿勢はもろろのことですが、三入地区(上町屋・下町屋・桐原・南原)の永年に亘り培われた相互扶助の絆だと思います。

更に申しあげるとすれば、平成十八年・平成二十一年に三入学区挙げて取り組んだ、全住民参加、且つ、自前の避難訓練が、立上げ復旧に活かされたものと思います。

「誰もが安心して暮らせる、自立と支えあいの地域づくり」へ向かつて、更なる向上を目指し諸施策を進めてまいり所存です。

本年も変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願いを申しあげ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

災害が起こりにくい地域づくりを



三入学区自主防災会連合会
会長 正圖 正暁

「広島土砂災害」

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
平素は三入学区自主防災会の活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

昨年の8月20日未明にかけて局地的に降ったゲリラ豪雨により、三入地区においても土砂災害が発生して甚大な被害をもたらしました。

被害を受けられた方がたに心よりお見舞いを申し上げますと共に、尊い命を失われた方に謹んで哀悼の意を表します。

また、災害発生時から復旧・復興にご尽力いただきました安佐北区災害ボランティアセンターを起点に、ボランティア団体・NPO法人・学生ボランティア、並びに企業団体の方、三入地区各種団体や地域の方々には、猛暑のなか懸命に復旧対応にご尽力いただきました。（派遣人員三・九一八名）

この度の災害において地域の自主的な避難行動や、助け合いのための皆様の行動に深い感銘を受けました。

気象情報でも温暖化の言葉がよく聞かれますが、豪雨・台風・洪水や地震の発生など、災害はいつ起こるか解らないものです。地域のどこに危険箇所があるかを把握しておくなど、日頃から災害に対して備えておくことが大切です。災害が起こりにくい地域づくりを目指しましょう。

本年も変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

被害の状況

安佐北区三入のアメダスでは、19日11時から20日6時までの総雨量が243mmを記録し、24時間降水量としては全国の観測統計開始以来最大の雨量記録となりました。

又、土砂災害としても、人的被害・物的被害も記録的な大惨事となりました。

データは：インターネット平成26年8月豪雨広島市の土砂災害-Wikipedia

人的被害

地区名	死者	重傷者	軽傷者	詳細な地区名
安佐南区山本地区	2	0	0	山本八丁目
安佐南区緑井地区	14	4	7	緑井七丁目・八丁目
安佐南区八木地区	52	1	19	八木三丁目・四丁目・六丁目・八丁目
安佐北区可部地区	6	3	10	三入四丁目、三入南二丁目 可部三丁目、可部東二丁目・六丁目 可部町桐原、大林三丁目
合計	74	8	36	

物的被害

地区名	全壊	半壊	一部損壊	床上浸水	床下浸水
安佐南区	100	84	92	968	2,035
安佐北区	32	38	72	330	758

降雨記録

観測時刻：8月20日4時00分

	観測地点	最大降水量	
		24時間	1時間あたり
安佐北区	地名		
	大林	237.0	96.0
	三入	256.5	101.0
	三入東	284.0	121.0
安佐南区	上原	287.0	115.0
	高瀬	215.0	87.0
中区	八丁堀	78.5	46.5

国土交通省ホームページ／災害・防災情報資料より

三入地区の土石流危険度点検評価箇所

平成26年【10月31日時点】

◆：危険度評価A

（緊急避難体制確保と避難対応が必要）

□：危険度評価B

（警戒体制強化と必要に応じ対応する）

○：危険度評価C

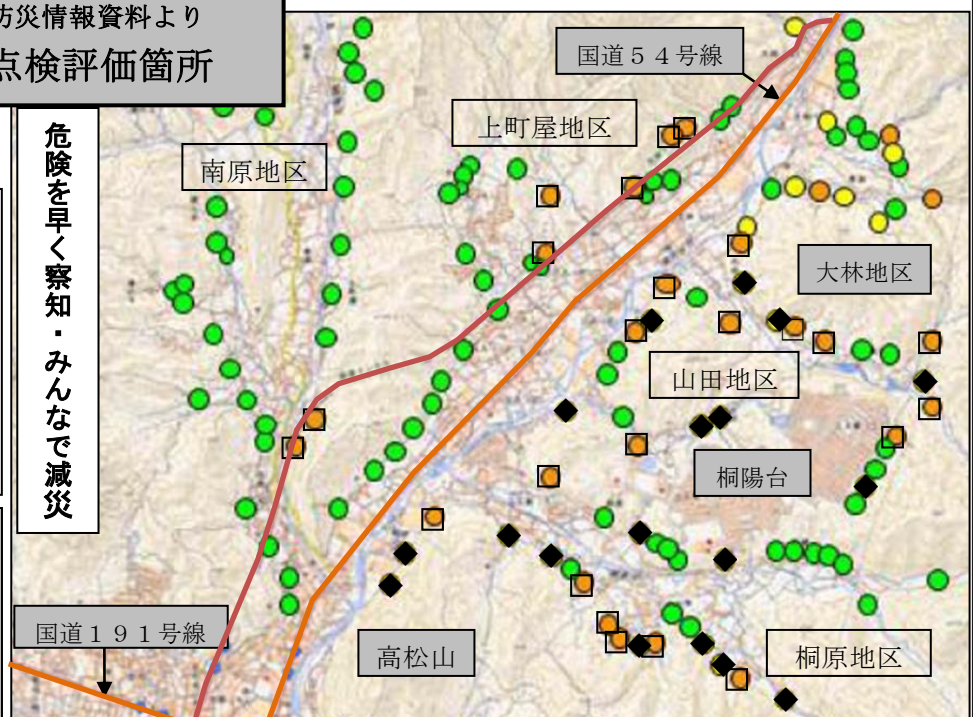
（緊急度は低い降雨状況により注意）

※災害危険度情報の確認

・NHK総合テレビで、リモコンの「d」ボタンを押し、メニューの「生活・防災情報」「土砂災害危険度情報」で危険をいち早く察知し早めの避難行動を。

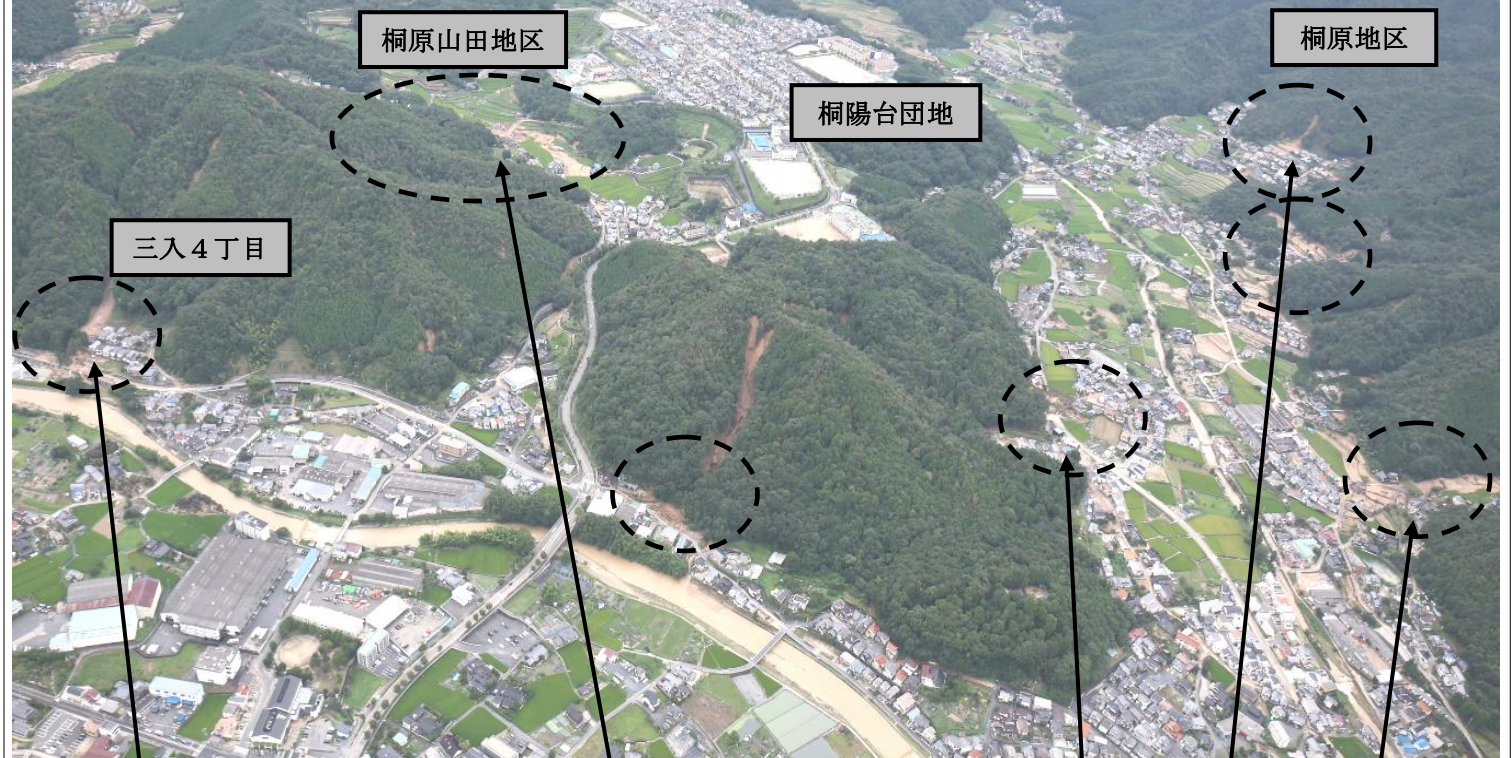
危険を早く察知・みんなで減災

国道191号線



8・20土砂災害：三入地区での大災害現場

◆早期復旧・復興を



三入4丁目／民家1棟破壊・他の4棟も床上、床下土砂流被害、下側のバイパスも寸断などの被害が発生。



山田地区／写真上・集会所の崩壊で犠牲者が発生、生活道も完全に土砂の下に。写真下・団地内の民家も数件が全壊や一部破壊、多くの生活道の寸断が発生。



三入南1丁目／高松山西側の土石流により、地域全体が土砂流の被害に、2棟の民家は全棟床上まで流入、他の3棟も一部破壊や床下への流入が発生、母屋の廻り、側溝や畑なども埋まり、生活道の寸断発生。



桐山地区／民家1棟一部破壊や床上への流入、床下流入は十数件に上る。生活道も数カ所が寸断された。



桐原地区／桐原川でお一人の犠牲者が発生、高松山東側の土石流が桐原川に向かって300メートル流出、民家1棟一部破壊や床上、床下流入や物置などに被害、生活道も数カ所が寸断された。



桐原地区／民家1棟破壊・他の1棟も一部破壊や床上への流入、50メートル四方が土砂に埋もれ、生活道も寸断された。



住宅廻りのがれき撤去や土砂運搬作業



倉庫内の泥出し作業



サテライトでの受付／行先指示



敷地内の土砂出し作業



床下の土砂出し作業



出発前の班編成と作業説明

「ボランティア活動

第24回 可部地区青少年意見発表大会



広島市三入小学校

六年 国本 健

「僕の住んでいる町三入」

僕の住んでいる三入は災害が起きた時や人が困っている時に協力し合える地域です。

今年の8月20日あの豪雨災害が起きた朝、窓から外を見ると、公園の隣の家の駐車場に茶色の土砂がたくさん流れてきていました。

そこにはクラスの友達のお兄さんやお父さんやお母さん、僕の知らない地域の人などたくさん大人の人がいました。その人たちは、スコップやシャベルを持ってその土をみんなで一生涯懸命に取るための作業をしていました。

土のう袋に土を入れて運んだり、流れてきた木や石を運んだりして、その作業が終わるまでには、たくさん時間がかかっていました。僕は、みんながその家の人と知り合いというわけではないのに、困っている人を助けようと一生懸命な姿に驚き、すごいなーと思いました。

この地域の人は、自分のことだけでなく地域のことを大切に考えています。

困っている人の事をちゃんと理解していません。今どんなことに困っていて、自分には何が出来るのか考えて行動しています。

また、大人だけではありません。友達のお兄さんまでも一緒に活動し、手伝っていて大人も子供も共に助け合っています。

公園の方を見てみると公園のごみやがれきを片付けている人もいました。

この公園は今回の災害時以外でもいつもお菓子のゴミなどを拾ってくださっている人がいて綺麗になっていました。

正直そんなことはあまり気にかけてはいなかったけれど、こんな水害で大変な時にもみんなが使う公園を自分から進んできれいにしておきたい姿に驚きました。

今回の災害での出来事を通して、この地域は災害で困っている人がいればみんな助けあえることや、いつもはあまり気にかけてはいなかったけれど、みんながこの地域を本当に大切にしているのだと改めて思いました。

地域のことを本当に大切にしている人がたくさんいることを知り当たり前のことだけれど、これから、地域にごみが落ちているときには拾うようにしようと思いました。

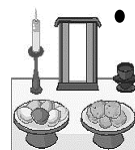
また、近所の人困っている時には自分が助けられる人になりたいと思いました。

僕はこの地域のみんなが助け合っていることをみんなに知ってもらいたいです。

今学校では今回の水害をきっかけにして自主防災会のことや災害について学習しています。「なぜ顔を見て挨拶をすることが防災訓練なのだろう？」この学習を通して、

さらに、みんなが助け合うことの大切さを学び、伝えていきたいです。

愛の灯



次の方々が香典返し等に代えて心のこもったご厚志を寄せられました。

これは地域福祉の向上に対する深いご理解の賜物であります。ご厚情に対して心より厚くお礼を申し上げます。

下町屋 野平 良子 様
 " 森下 軍 様
 桐原 新木 康弘 様
 " 塔岡 一爽 様
 " 大前 秀昭 様
 南原 大坂 睦彰 様
 " 助信 太紀 様

おくやみ

(平成26年6月27日から

平成26年12月20日現在)

次の方々がこの間にお亡くなりになりました。

ご生前のおもかげを偲びつつ、謹んでお悔やみ申し上げます。

上町屋 吉賀キヨ子 様92歳
 " 山田 弘志 様71歳
 下町屋 藤川 千秋 様70歳
 " 野平 眞乗 様86歳

下町屋 森下 繁子 様76歳

" 吉田 勝三 様71歳

" 戸木イツコ 様81歳

" 岡崎三千枝 様90歳

桐原 松本美智子 様88歳

" 新木フミエ 様90歳

" 奥元 勇 様78歳

" 大前シズエ 様91歳

" 塔岡チトセ 様91歳

" 牧尾 久子 様85歳

" 坂原 昭夫 様84歳

南原 木原 道雄 様75歳

" 助信 浩子 様77歳

「お詫び」 社協みいり77号おくやみ欄に 谷本昇公男様とありましたのは、

谷本登公郎様の誤りでした。

訂正してお詫び申し上げます。

三入社協へのご寄付

次の方からご寄附を頂きました。

桐原 徳丸 幸一 様

外部団体からの受賞者紹介

おめでとうございました

今後のご活躍をお祈り致します

広島市社会福祉協議会会長賞

地域福祉功労賞 観 芳子

「みんなでつくる

やっえあいのまち」

民生・児童委員は、いつも皆さんの立場に立ち、安心して相談できるボランティアとして地域のまちづくりを推進しています。

「民生・児童委員とは」

●民生委員は民生委員法に基づいて厚生労働大臣から委嘱された委員で、社会奉仕の精神をもって、福祉の増進に努める民間の奉仕者です。

●それぞれの地域において、悩みや問題を抱えていたり、経済的・社会的あるいは精神的に困った状況にある方々に対して、問題解決などに向けたお手伝いをするために、福祉関係機関と相談しながらさまざまな支援活動を行います。

●児童委員は児童福祉法に基づく委員で、より幅広い役割を果たすため、同法の規定により民生委員が兼ねることになっています。子供たちの健やかな成長を願い、子育てや児童をめぐる相談活動や、よりよい環境づくりなど、児童関係者や地域の皆様とともに広く活動します。

「主任児童委員とは」

●主任児童委員は、児童福祉法に基づいて、民生委員・児童委員の中から厚生労働大臣が指名した委員で、児童福祉に関する事務を専門に担当し、他の民生委員・児童委員と連携を保ちながら活動します。

「編集後記」

8月の広島土砂災害には凄まじいものを感じました。今までは他人事と思つてあまり心配はしておりませんでした。今回は違いました。深夜のあの雷の轟音と激しい豪雨の中では、たとえ避難指示が出たとしても多くの方が対応できなかったと思われまふ。

最近のこのようなゲリラ豪雨は、地球の温暖化による高温多湿の気象状況によるものと考えられています。今後さらに温暖化が進めば、豪雨もさらに強烈なものとなり50年後には、対象となった地域が洪水と土砂で流されることが予測されています。

全世界的規模での対応策の早急な検討が叫ばれていますが、それとは別に、被害を被る側の我々としても「自分の命は自分で守る」事が必要との教訓も、今回の災害で学びました。

居住している地域周辺の危険性を検証するなど、地域で一致協力して事前に災害に備える事が大事かと思ひます。